文春オンライン

ここが知りたい経理DX

（2023年5月掲載予定）

文春オンラインとは

世の中の「ほんとう」がわかる。月間最大6億3000万PV 国内雑誌系No.1サイト

3つの特長

1.高PV、高UU。圧倒的な読者数

月間ページビューは平均4億超（※）「文春オンライン」でしか読めない充実のコンテンツが満載で、老若男女幅広く、圧倒的な読者数を抱えたウェブメディアです。
（※自サイト内。Google Analytics2022年4月～11月実績）

2.「ビジネスからエンタメまで」バラエティ豊かな記事

政界・経済界を揺るがす大スクープ。芸能人・インフルエンサーへの深堀りインタビュー。意外と知らない洗濯のコツ…きっと読みたい記事が見つかります。

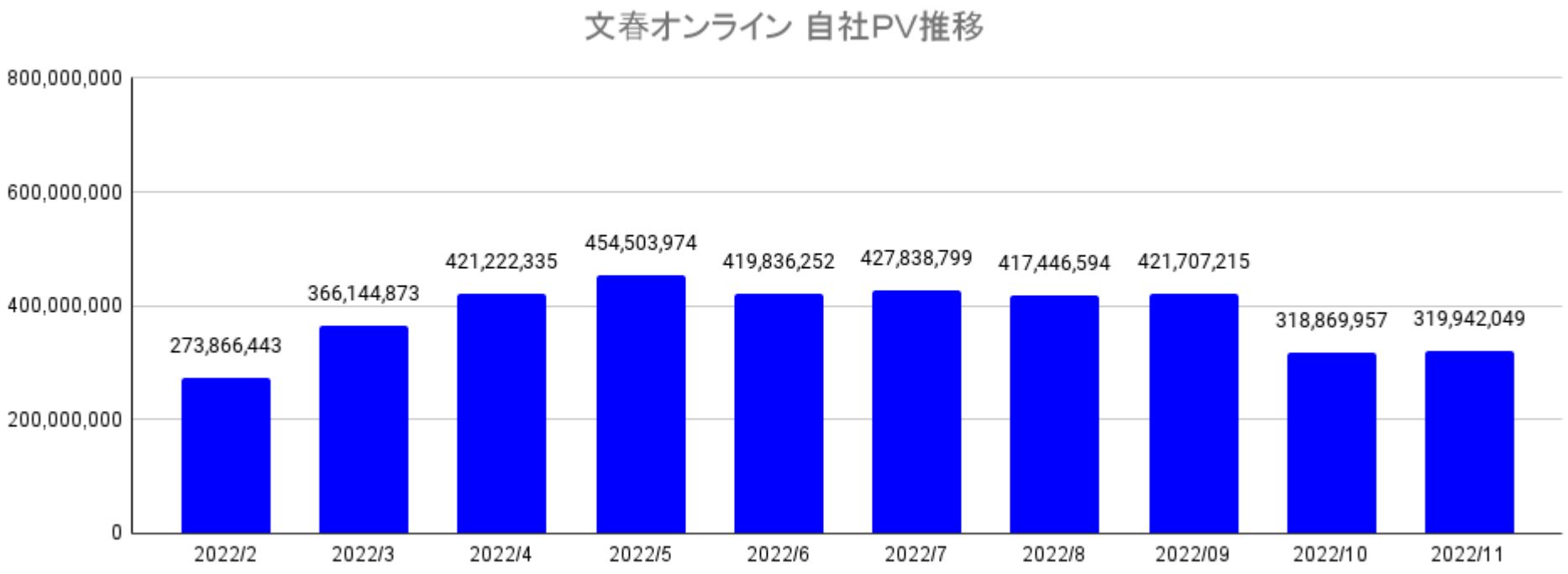
3.SNSでトレンドを席巻

「#文春オンライン」はトレンドタイムラインの常連ハッシュタグ。ネット上にうねりを起こす、ニュース性、話題性にあふれています。

【文春オンライン】ＰＶ・ＵＵサマリー

出典：GoogleAnalytics　2022年9月（UA）
および2022年10月・11月（GA4）

自社ＰＶ	**3億5350万6796 PV/月**
自社ＵＵ	**3890万3897UU/月**
外部含むＰＶ	**3億9703万1989 PV/月**

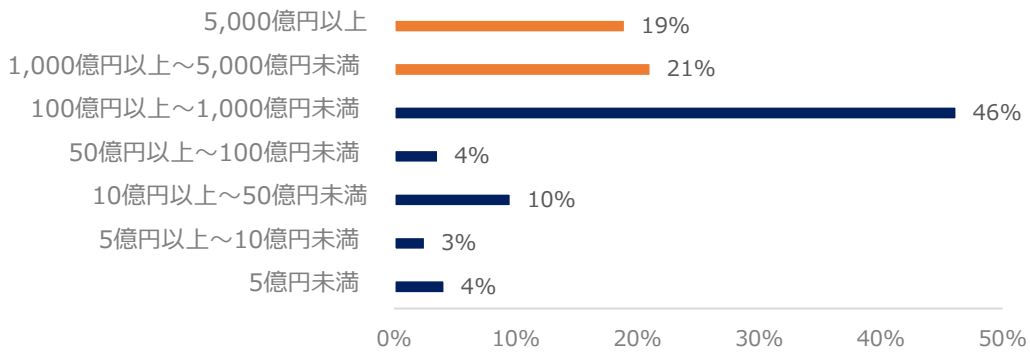


【文春オンライン】ユーザープロフィール

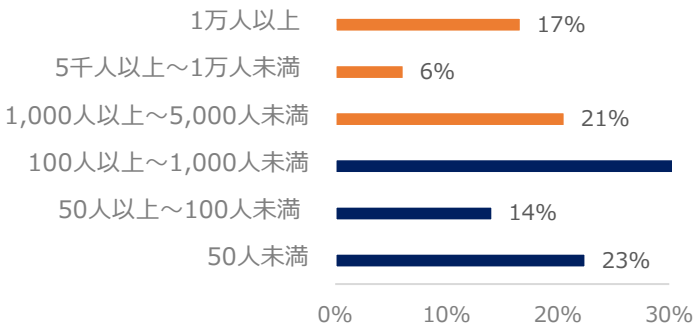
出典：GoogleAnalytics2022年6月～2022年8月

会社の売上高規模1,000億円以上、従業員1,000人以上の企業に勤める方もそれぞれ約半数おり、大手企業や東証一部上場企業が多い点が特徴です。

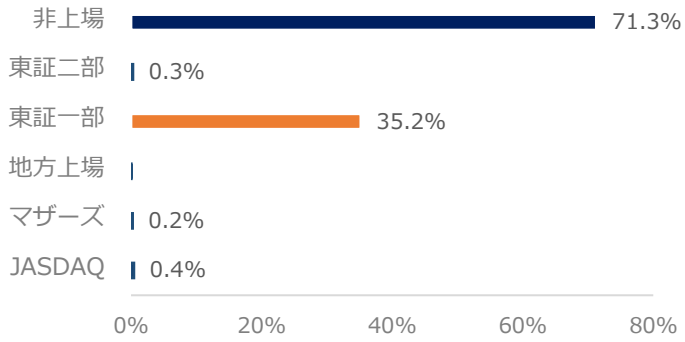
売上高規模



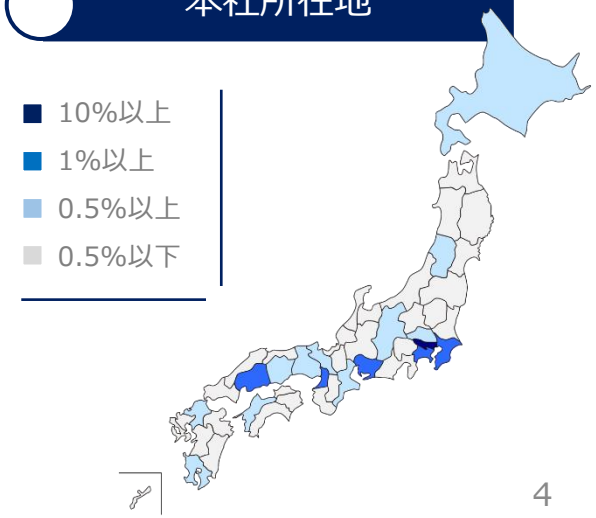
従業員規模



上場区分



本社所在地



①経理部門の課題解決パートナーとしてのプレゼンス向上をはかります。

・月間4億PV 国内雑誌系No. 1 サイトの「文春オンライン」で、経理部門、経営企画部門を中心とした意思決定者、ビジネスリーダーへリーチをはかります。

・2023年10月インボイス制度開始、2024年1月改正電子帳簿保存法施行のタイミングを、経理・財務業務の効率化、省力化、DX加速の好機と捉え、対策の先を見据えた「あるべき姿」を分かりやすい編集記事で紹介します。

②オンラインで経理DXに関したアンケートを実施。アンケート回答者情報をお渡しいたします。

・各タイアップページ内で、経理DXに関連したプレゼント付きアンケートを実施。
回答者の個人情報（名前・メールアドレス・会社名・役職など）をお渡しいたします。

【文春オンライン】経理DX特集について

■ポイント

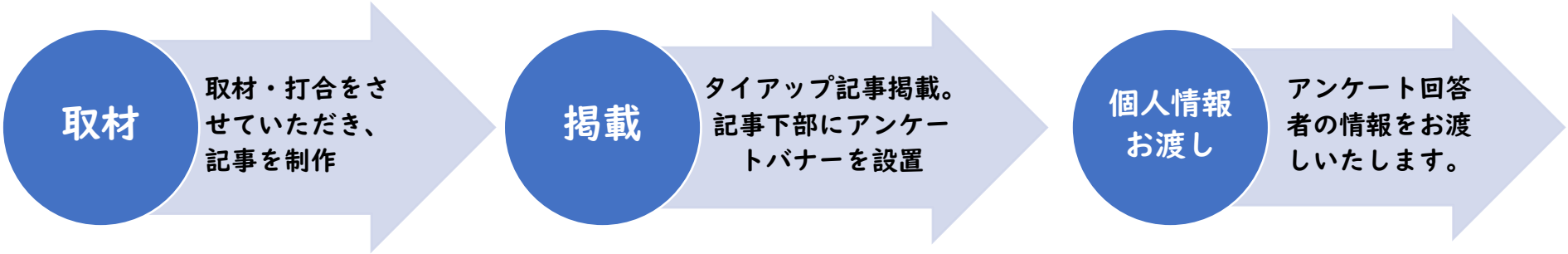
2023年10月1日より、消費税の仕入税額控除の方式として「インボイス制度」が、また2024年1月に2年間の宥恕期間の期限がせまる「改正電子帳簿保存法」が本格運用となります。万全な対策を取っている企業、対応の最終段階を迎えていくる企業がある一方で、まだまだ対策が不完全という企業も少なくないのが現状です。

「インボイス制度」では、インボイスの発行義務や申告・納税義務、税務調査に耐えうる経理業務など業務量が格段に増え、運用コストも嵩むことが想定されています。「改正電子帳簿保存法」では、電子取引データのデータ保存を義務化され、データで受領した請求書や領収書を紙に印刷して保存することができなくなり、デジタル化対応への仕組みづくりや、業務フローの構築が不可欠となっています。

施行開始のカウントダウンが迫る中、企業は改めて対応に不備はないか再点検を行い、経理業務のみにとどまらず、業務プロセス全体を俯瞰し、自動化、効率化を図るとともに、不正防止や経営データとして活用するための体制・組織づくりに向けロードマップを描くことが重要となっています。

本特集では、「経理DX」をテーマに、専門家の取材記事と、関連するサービスのご紹介をいたします。

■企画の流れ



【文春オンライン】経理DX特集　掲載イメージ

TOPページ

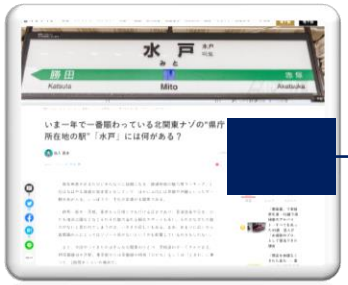
誘導

経理DX特集ページ

特設ページ内で、専門家への取材記事と、
御社のサービスの取材記事を並列して掲載。

タイアップページ

記事ページ



誘導

トップページ新着記事欄ローテーション

4万人

※メルマガ内ローテーション

※公開日に1回ツイート

65万follower

誘導

記事内関連記事ローテーション/SPECIAL欄常時表示

誘導

【文春オンライン】経理DX特集　アンケートページ

文春オンライン

経理DX　アンケート＆プレゼント

以下のフォームに必要事項をご入力いただき、ページ下の「次へ」ボタンを押してご応募ください。

- （必須）のついた項目は必ず入力してください。
- 半角カタカナ、特殊文字はご使用にならないでください。
- ブラウザの「戻る」ボタンを押すと入力内容が消えてしまう場合があります。前のページに戻る場合は、必ず画面下の「戻る」ボタンをクリックしてください。

ご希望の賞品（一つお選びください）（必須）

（A）QUOカード
（B）リンベル 選べる国産和牛カタログギフト
（C）文藝春秋特製図書カード

■個人情報入力欄

郵便番号（必須）

ご住所（必須）

北海道

住所：

電話番号（必須）

e-mailアドレス（必須）

お名前（必須）

姓：　名：

フリガナ（必須）

姓：　名：

※全角カタカナでご記入ください。

性別（必須）

---お選びください---

生年月日（必須）

---- 年 -- 月 -- 日

年齢（必須）

満　歳

今後、弊社からのお知らせやアンケートなどを お送りしてもよろしいでしょうか？（必須）

はい
いいえ

次へ

●個人情報の取り扱いについて

ハガキや本企画応募フォームにてご記入いただきました個人情報は（株）文藝春秋より業務委託している（株）コプロシステムで受付管理の上、資料を発送するために各広告主に提供されます。またそれ以降も商品情報などが案内される場合があります。　文藝春秋　メディア事業局

経理DXに関するアンケートを実施いたします。アンケート回答者の個人情報・回答内容をお渡しいたします。

■実施期間：掲載開始から4週間

■回答者データのお渡し：掲載開始から１週間ごとにお渡し予定

■アンケート項目

・名前
・生年月日
・メールアドレス
・会社名
・部署名
・役職
・興味のあるサービス
・経理に関連する質問

※アンケート項目は一部変更の可能性がございます。

【文春オンライン】経理DX特集　プランのご案内

メニュー名	ここが知りたい経理DX(タイアップ記事)
料金	2,500,000円
PV	25,000～100,000PV【想定】 ※最低25,000PV保証
掲載期間	4週間【保証】
誘導枠	①トップページコンテンツエリア内2枠ローテーション ②記事内関連記事欄（2～3枠ローテーション） ③記事内SPECIAL欄（常時表示） ◆また特設ページ「ここが知りたい経理DX」を作成し、トップページ内バナーならびに記事ページ内バナー30万impを掲出します。 ※そのほか、外部メディアからはSmartNews文春オンライン記事内誘導枠、Twitter投稿（公開日1回のみ）、平日発行メールマガジン（1枠ローテーション）からの流入を想定しております。
アーカイブ	半永久（※著名人出演の場合そちらの契約条件が優先します）
レポート	PV／UU／ユーザー属性（年齢・性別・デバイス・地域）
備考	※保証掲載期間内で保証PVに到達しない場合、期間を延長いたします。一方、短期間で保証PVに到達した場合でも誘導枠の掲載期間は保証いたします。 ※掲載基準に基づいた事前審査が必要となります。 ※CMSテンプレートでの制作となります。 ※平日（任意）11:00～掲載開始となります。 ※モデル、著名人出演費、遠方取材費は上記料金に含まれておりません。別途かかります。 ※著名人出演の場合、出演契約に準じたアーカイブ期間が優先されます。 **※経理関連層への外部メディアを活用したターゲティングは応相談。**

＜ここが知りたい経理DX＞

■スケジュール

・～3月31日（金）お申込み〆切
・4月上旬　取材
・4月下旬　校了
・5月上旬　掲載開始

※詳細スケジュール・掲載開始日は打合にてご調整させていただきます。

オプションプラン　文春オンラインでの取材内容を、月刊文藝春秋への転載も可能です。

月刊誌No.1『文藝春秋』での告知もできますす。

企業経営者・役員、地方の名士、政治家、弁護士、医師の読者が多い媒体です。

・創刊100周年を迎えた国民的月刊誌です。

・平均36.4万部※の圧倒的部数を誇ります。（※JMPAマガジンデータ2022年1月~3月平均）

・読者層はシニアが中心ですが、最新の時事、ニュース、経済に高い関心を持っています。

■スケジュール　5月10日売号掲載の場合

～3月31日（金）お申込み〆切
・～4月上旬　　取材
・4月20日（木）校了
・5月10日（水）掲載開始
※文藝春秋電子版への転載もいたします。
※資料請求は文春オンライン経由で実施します。

■掲載金額

4C2Pタイアップ　特別価格250万円
1C2Pタイアップ　特別価格150万円

相続特集

相続税調査は家族全員が対象！
申告漏れで追徴課税にならないために

辻・本郷 税理士法人

個人が適正に税を申告しているかどうかを調べる手段の一つに、税務署の実地調査がある。相続税の申告時に財産を隠すことなく、正しく申告をしたつもりでも思わぬ漏れや指摘により、追徴課税になってしまうケースがあるので注意が必要だ。

内助の功で貯めたお金が申告漏れの財産に？

税務署の調査官がチェックするのはまず、被相続人の財産保有状況。生前の所得や財産の運用状況、相続財産などを総合的に勘案し推定の財産を算出する。それと実際の申告財産額とを比較して、大きく乖離していれば申告漏れの可能性も残される。

状況については、特に「形成過程」について入念に調べられる。配偶者が多額の資産を保有しているとしよう。その金額がどのように形成されたかについて、これまでの職務経歴や結婚の相続など、過去に遡り徹底的に調べられるのだ。

「息子さんが生活費をやりくりして貯めたお金にも注意が必要」――。そう警鐘を鳴らすのが同社相続センター長の浅野恵理氏だ。「内助の功で築いた財産だからと自分のお金と思いたくなりますが、税務調査で注目するのは、その財産の原資が誰の稼ぎかという点。自分の財産と主張するのであれば、贈与契約書など何らかのエビデンスを基に調査官に説明する必要があります」（浅野氏）

税務調査が入る場合は、相続税の申告から1～2年後というのが一般的だ。納税者は原則として調査官の質問に回答する義務があり、虚偽の説明をすれば重加算税の対象にもなりかねない。では、税務調査に入られないようにするにはどうすべきか。鈴木氏は「税務調査に入られないための確実な方法はありません。特に財産規模の大きな方は、調査される可能性が高い」と話す。

同社は、相続税を専門とするスタッフが約300名在籍し、年間3000件もの相続税申告の実務を持つ相続税に強い税理士事務所だ。「長年の経験と実績で、当事務所は税務調査で指摘されやすいケースとその対策について、豊富なノウハウを有します」と浅野氏。実際に実地調査が行われることになっても、必要以上に課税されないよう納税者と事前に綿密な打ち合わせを重ね、誤解を生む発言などがないよう対策を講じてくれる。税務調査が来てから慌てることのないよう、相続対策の一環として、同社に早めに相談してはどうだろう。

名義預金と生前贈与は申告漏れの多い財産

国税庁が公表する令和2事務年度調査（2020年7月～21年6月）によると、相続税の実地調査件数は5106件、そのうち修正申告が必要となる申告漏れなどの非違件数は、447件で、非違割合は実に87・6％にも及んだ。税務署の調査を受けた相続人の8割以上に申告漏れが見つかったわけだ。「時々いなど悪質なケースも稀にあるものの、大半は適切に申告し、納税しているはず。それでも税務調査が行われると、申告漏れが指摘されてしまうのはなぜか。「名義預金が申告漏れの原因になっているケースが多い」と指摘するのは、辻・本郷税理士法人の鈴木淳氏だ。名義預金とは、口座の名義は配偶者や子、孫などと相続人になっているものの、実際は被相続人が家族の名前で口座を開設し、実質的に管理している預金口座のこと。名義が家族の名前になっているため、相続財産に加算するのを忘れやすいのだ。「相続税の実地調査は家族全員が調査対象となります。家族名義の財産の中に被相続人に帰属する財産があるかどうかを重点的に調べられるので注意が必要です」（鈴木氏）

名義預金とともに忘れやすいのが生前贈与で受け取っていたつもりの財産だ。生前贈与は贈与する側・される側双方の合意が欠かせない。贈与をしたつもりでも受け取る方にその認識がなければ、贈与として認められないため、相続財産に加算する必要がある。

■相続税の実地調査事績

項目	令和元事務年度	令和2事務年度
実地調査件数	10,635件	5,106件
申告漏れ等の非違件数	9,072件	4,475件
非違割合	85.3%	87.6%
重加算税賦課件数	1,541件	719件
重加算税賦課割合	17.0%	16.1%
実地調査1件当たりの追徴税額	641万円	943万円

出所：国税庁「令和2事務年度における相続税の調査等の状況」

コロナの影響もあり、調査件数自体は半減したものの実地調査1件当たりの追徴税額は増加傾向にある

辻・本郷 税理士法人
HONGO TSUJI TAX & CONSULTING
辻・本郷 税理士法人
東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー28階
TEL:03-5323-3301(代表)　https://www.ht-tax.or.jp/

<掲載事例> 税理士法人タイアップ広告

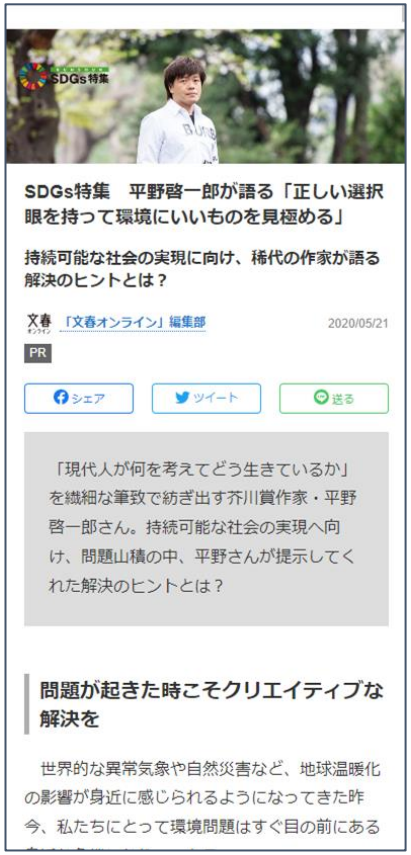
【文春オンライン】事例紹介（ SDGs特集）

https://bunshun.jp/feature/sdgs

日本生命保険相互会社
ニッセイの森

https://bunshun.jp/preview/3c5af270d4997d60e01d1c63a57c4bd11dd9a27a

フラグスポート
高反発マットレス



https://bunshun.jp/preview/ecfa647fc0c169a96f39ff981fd4f80e53b716c6

ファンケル
ファンケル 神奈川SDGs講座

https://bunshun.jp/articles/-/57059

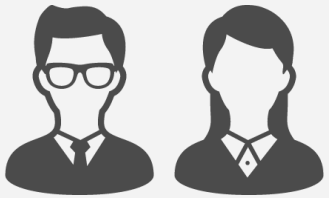
野村ホールディングス
Nomuraビジネス・チャレンジ

https://bunshun.jp/preview/e5db45d7038654a8bc95304ffbff429fadeaef37

厚生労働省
氷河期世代の活躍支援

https://bunshun.jp/articles/-/56752

【文春オンライン】読者データ①



女性が約半数

男女の偏りがなく、年齢は30-40代が中心

高い購買力

東証一部上場企業勤務の従業員が多く、世帯年収も高い

充実したオフタイム

お酒を飲む読者は63%と非常に高く、ビール/酎ハイを好む

SNSとも好相性

SNS閲覧者97%、投稿者86%と拡散力の高いユーザー多数

ファミリー層も多数

家族、育児、住宅の売買などファミリー・教育関連テーマにに関心が高い

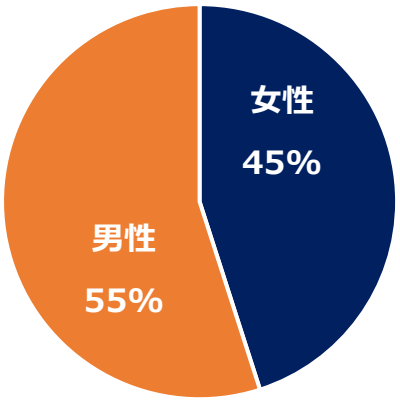
投資への強い関心

貯金だけではなく、株式や投資信託に関心が向いている

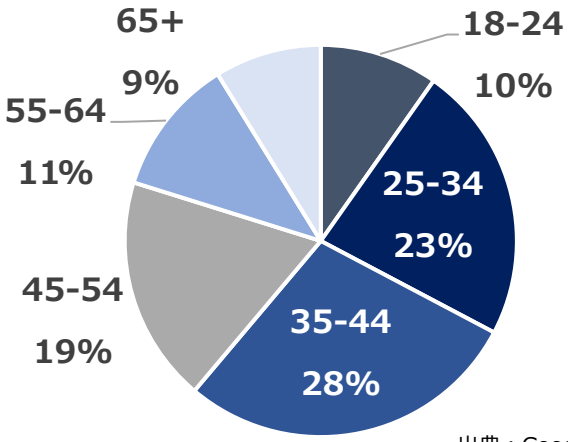
【文春オンライン】読者データ②

性別・年齢ともにバランスのとれた構成となっております。特に、持ち家のある既婚者やファミリー層世代より、大きな支持を集めています。月間UUは3700万を超えており、多くの人にリーチできるメディアです。

男女比

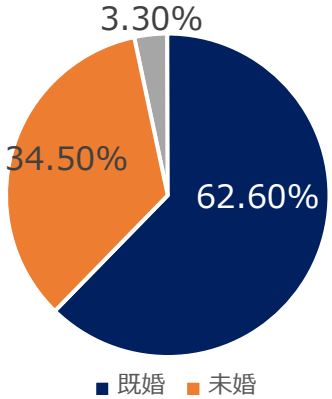


年齢層

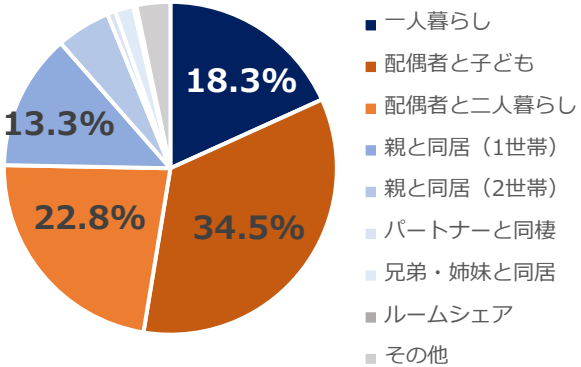


出典：GoogleAnalytics2022年9月～2022年11月

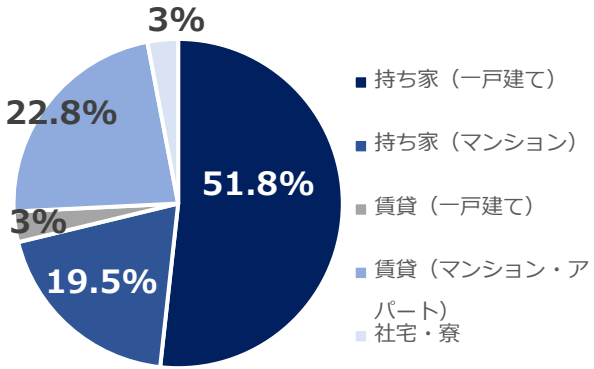
未既婚



家族構成



居住形態



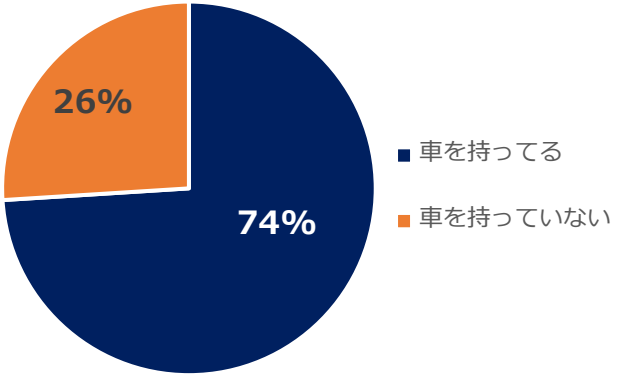
出典：AudienceOne®で取得した3rd Party Cookie Data 2021年8月1日～8月31日

【文春オンライン】読者データ③

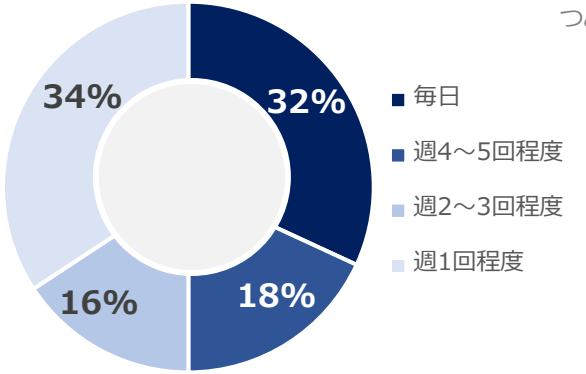
出典：GoogleAnalytics2022年6月～2022年8月

自動車保有者やお酒を飲む方が多く、生活習慣や食生活など健康を気にされる世代が多いです。NISAや投資信託、株式投資などに興味があります。

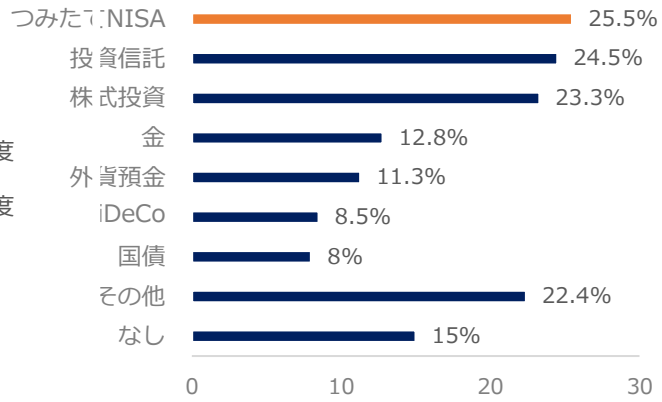
車の保有



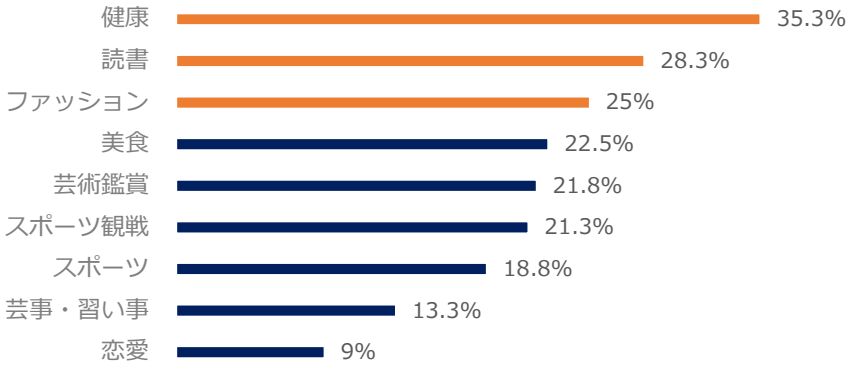
お酒を飲む頻度



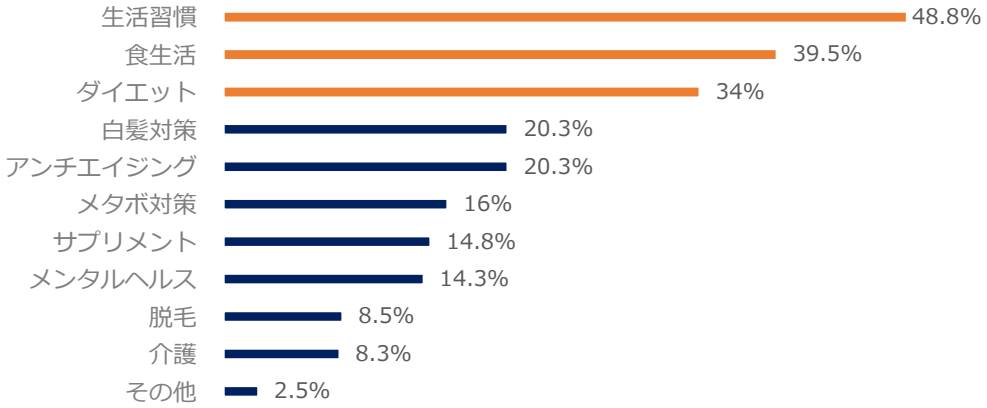
関心がある投資



とくに関心があるテーマ



関心がある医療・ヘルスのテーマ



出典：AudienceOne®で取得した3rd Party Cookie Data 2021年8月1日～8月31日

株式会社 文藝春秋

〒102-8008
東京都千代田区紀尾井町3-23
メディア事業局メディア事業一部

担当　青木

お問合せ先
t-aoki@bunshun.co.jp